

**2017年3月期
(2016年度)
決算説明会**

2017年4月28日

リコーリース株式会社

17年3月期業績サマリー

- ✓ 売上高：**2,911**億円 **3**期連続最高値更新
- ✓ 営業利益：**173**億円 **3**期連続増益 最高値更新
- ✓ 純利益：**117**億円 **2**期連続最高値更新
- ✓ 営業資産残高(実質)：**8,086**億円 **6**期連続最高値更新
- ✓ 取扱高：**3,690**億円 **4**期連続最高値更新

1. 実 績 報 告

(2017年3月期)

(億円、%)

	16/3	17/3				
	実 績	中 計 目 標	予 想	実 績	予 想 比	伸 率
売 上 高	2,758	2,800	2,850	2,911	102.1	5.5
売 上 総 利 益	303	—	310	311	100.5	2.6
販 売 管 理 費	134	—	137	138	100.9	3.0
営 業 利 益	169	175	173	173	100.2	2.3
(営 業 利 益 率)	6.1	6.3	6.1	6.0	—	△0.1
経 常 利 益	168	—	171	171	100.5	2.0
当 期 純 利 益	110	109	115	117	102.4	6.5

予想差 前年差(円)

1 株 当 り 純 利 益	353.96	—	368.39	377.12	8.73	23.16
1 株 当 り 配 当 金	55.00	—	60.00	60.00	0.00	5.00

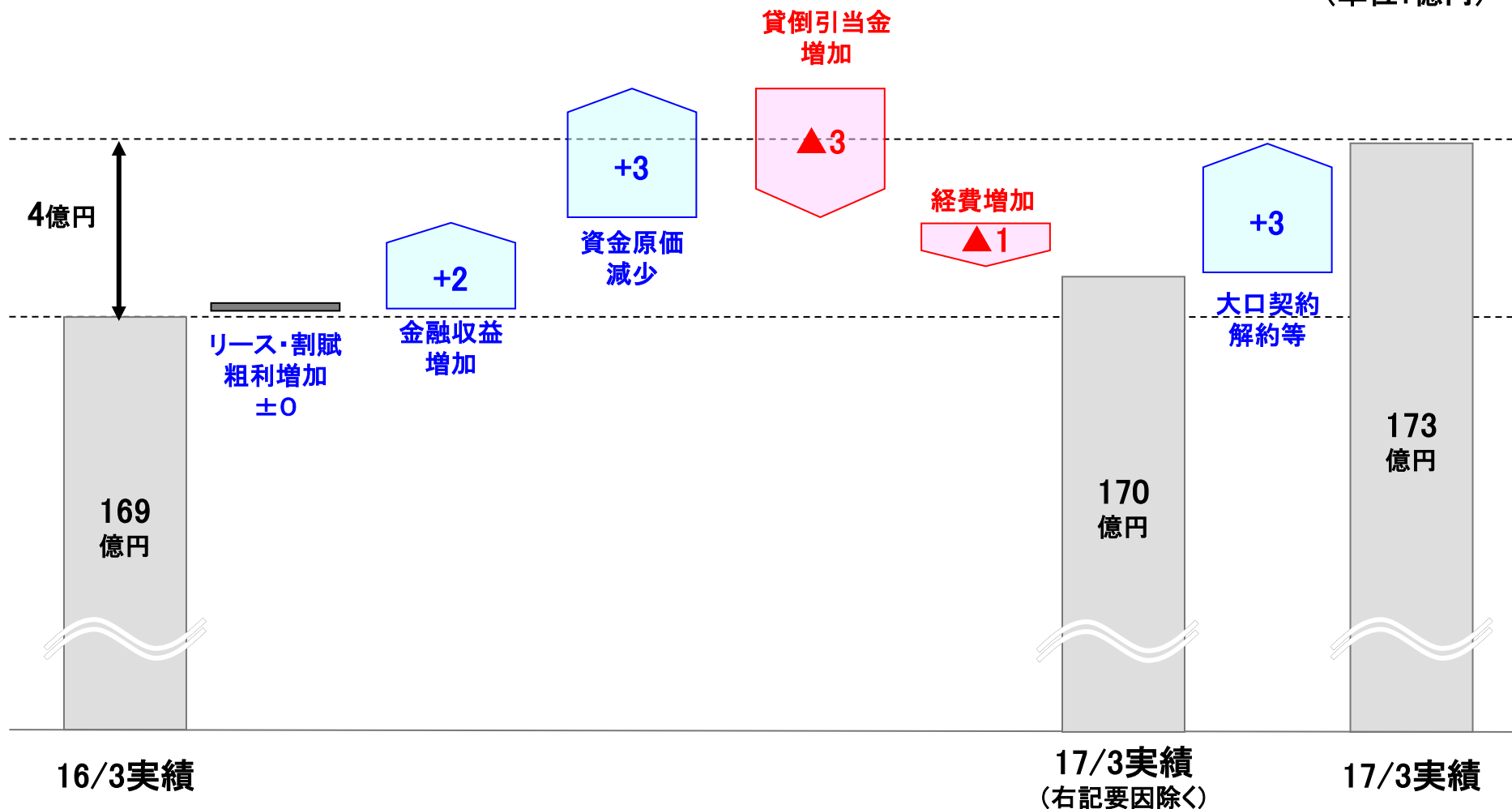
※中計目標は、2014年4月25日に発表。予想は2016年4月28日に発表した数値
「親会社株主に帰属する当期純利益」を「当期純利益」と表記しています

営業利益の前年比増減要因

売上総利益項目

販売管理費項目

(単位: 億円)



(億円、%)

		16/3		17/3	
		実 績	伸 率	実 績	伸 率
	ファイナンス・リース	2,663	1.6	2,599	△2.4
	オペレーティング・リース	127	1.7	125	△1.4
	割 賦	547	12.8	637	16.5
リース・割賦事業		3,337	3.3	3,362	0.7

金融サービス事業	264	1.7	327	24.0
----------	-----	-----	-----	------

総 取 扱 高	3,601	3.2	3,690	2.5
---------	-------	-----	-------	-----

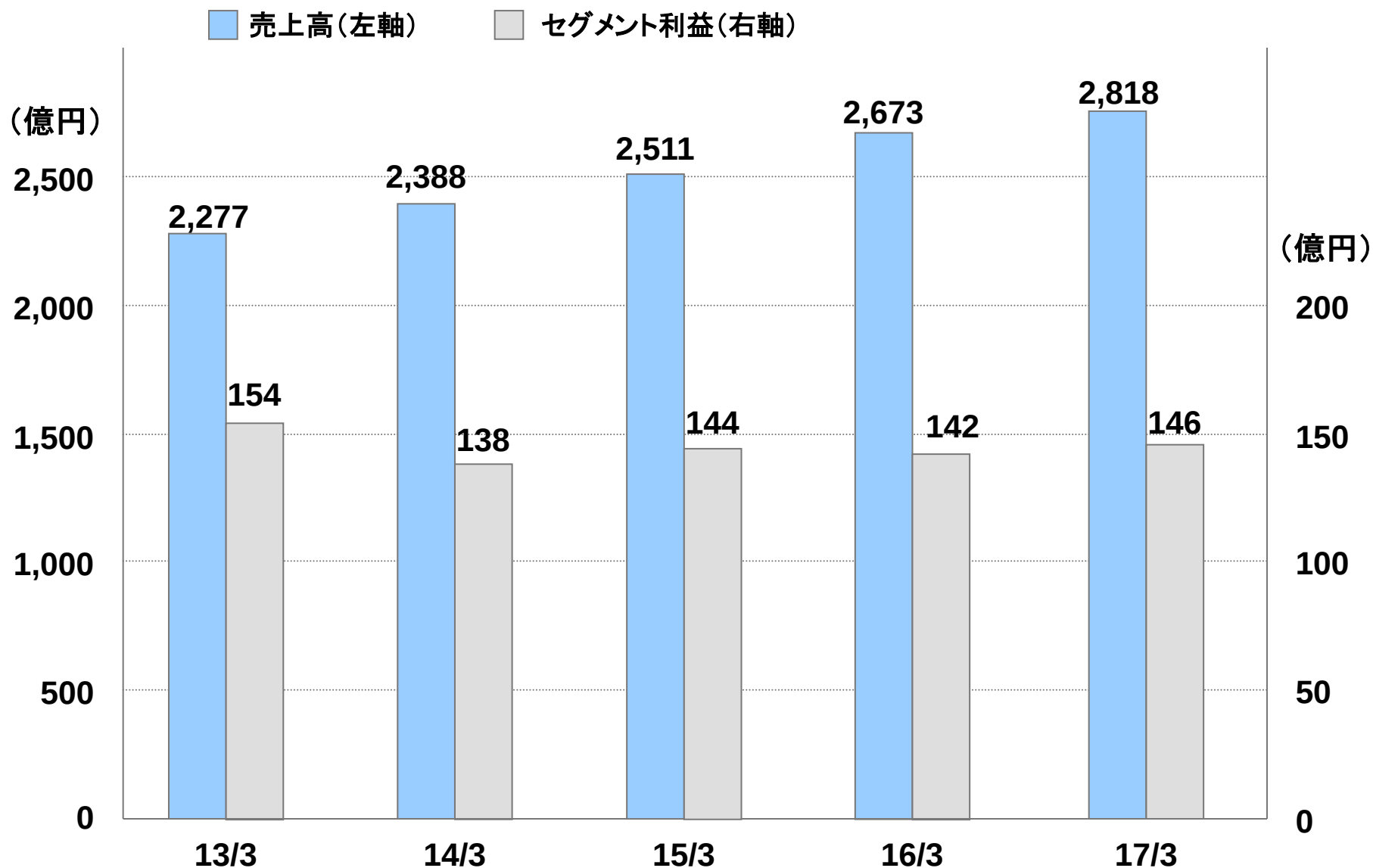
※本取扱高は“検収ベース”

(億円、%)

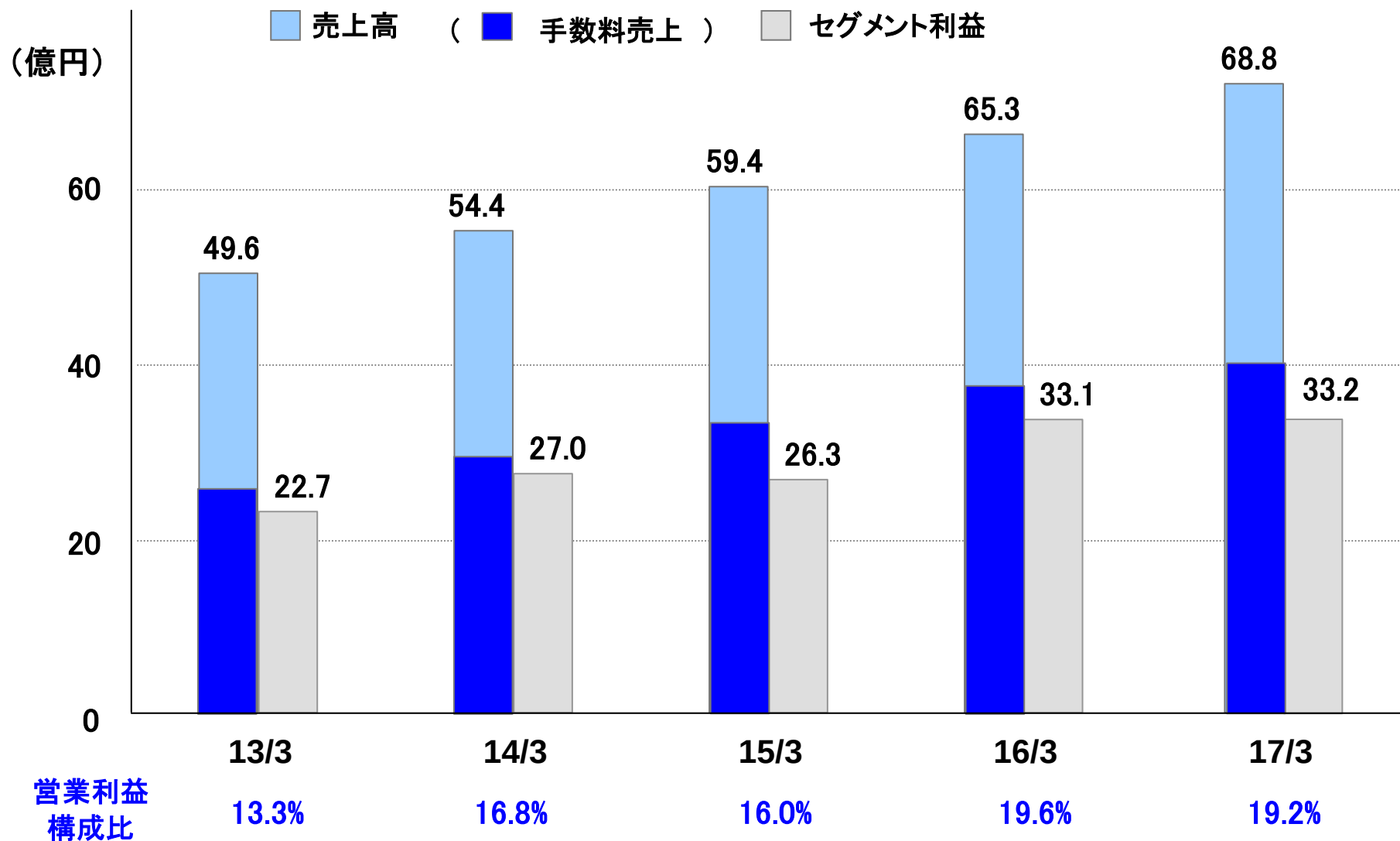
		16/3	17/3				リース事業協会 16/4-17/3累計
		実績	予想	実績	予実差	伸率	
事務用・ 情報関連機器		1,794	1,800	1,801	1	0.4	△2.3
医療機器		432	455	415	△39	△3.8	2.0
産業工作機械		337	356	321	△34	△5.0	△8.7
商業・ サービス業用機器		328	335	335	0	2.3	2.3
車両・ 輸送用機器		139	144	168	24	20.2	2.3
その他		305	310	320	10	4.9	1.6
取扱高合計		3,337	3,400	3,362	△37	0.7	△1.3

※予想は2016年10月21日時発表値

セグメント別業績推移(リース・割賦事業)

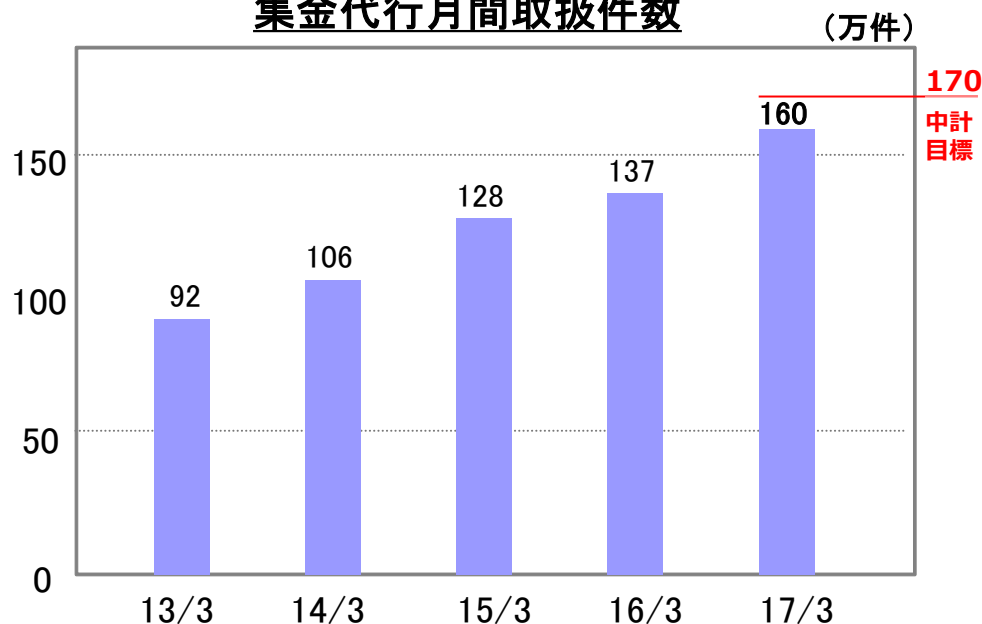


セグメント別業績推移(金融サービス事業)

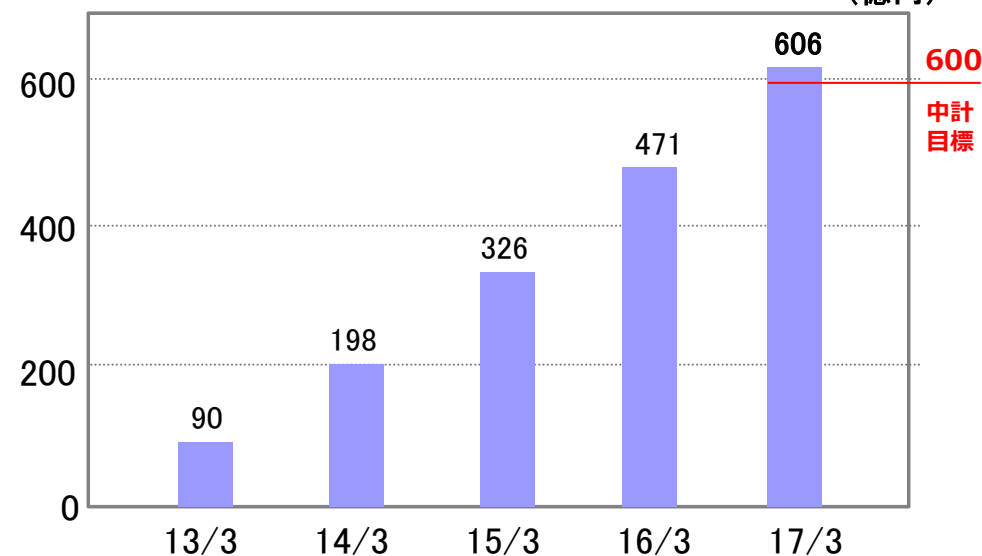


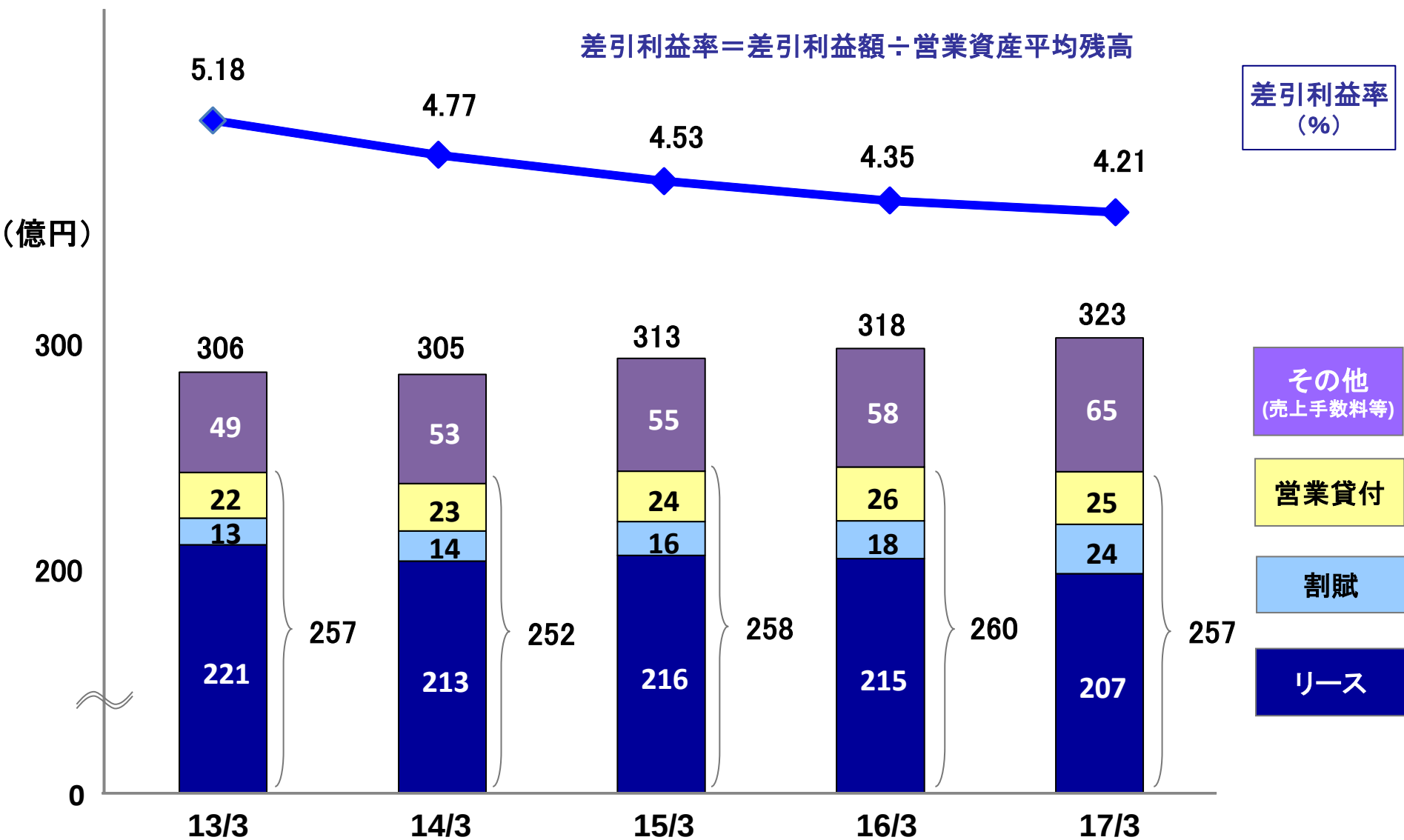
(中計目標: 20%)

集金代行月間取扱件数

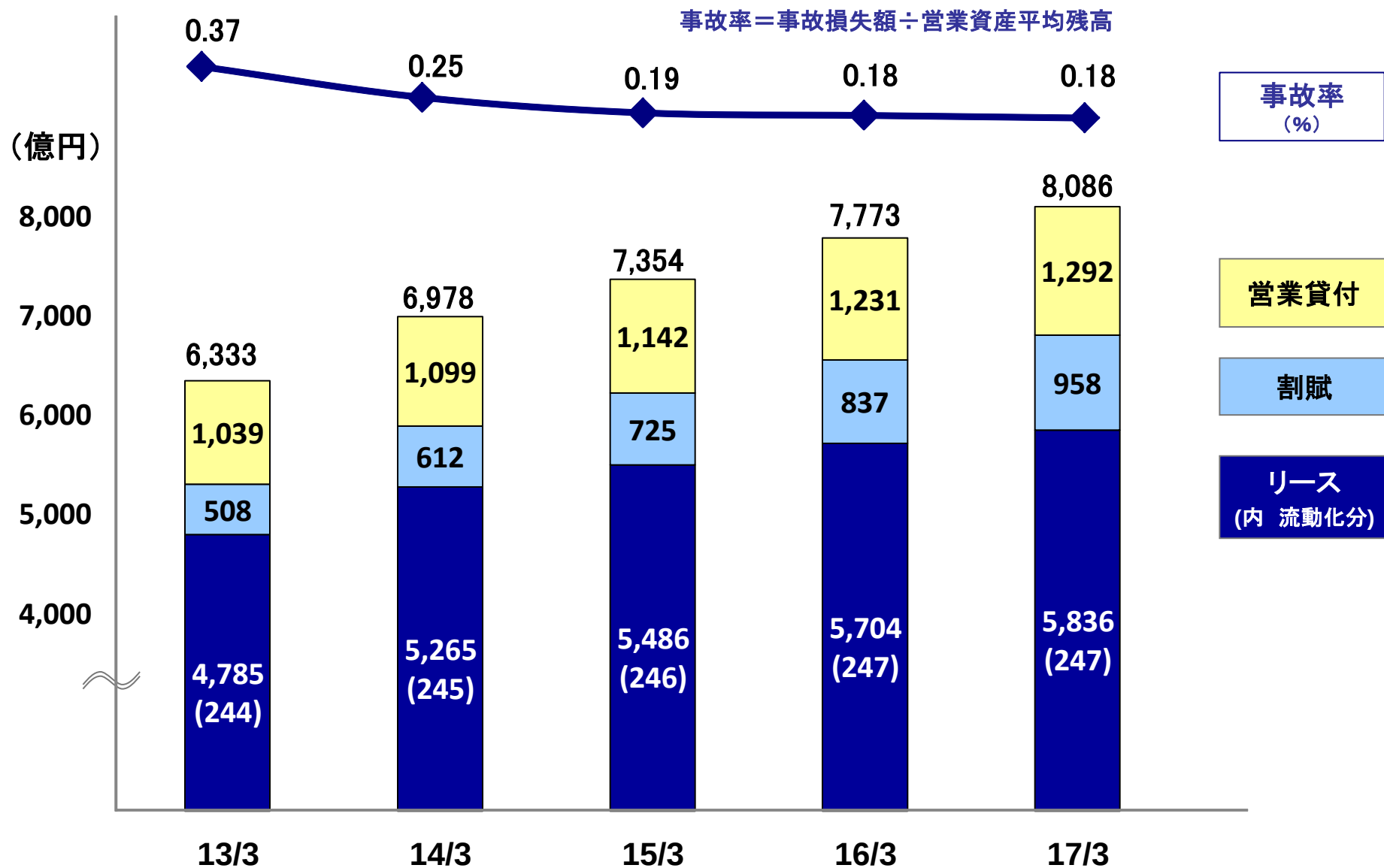


介護報酬ファクタリング年間取扱高

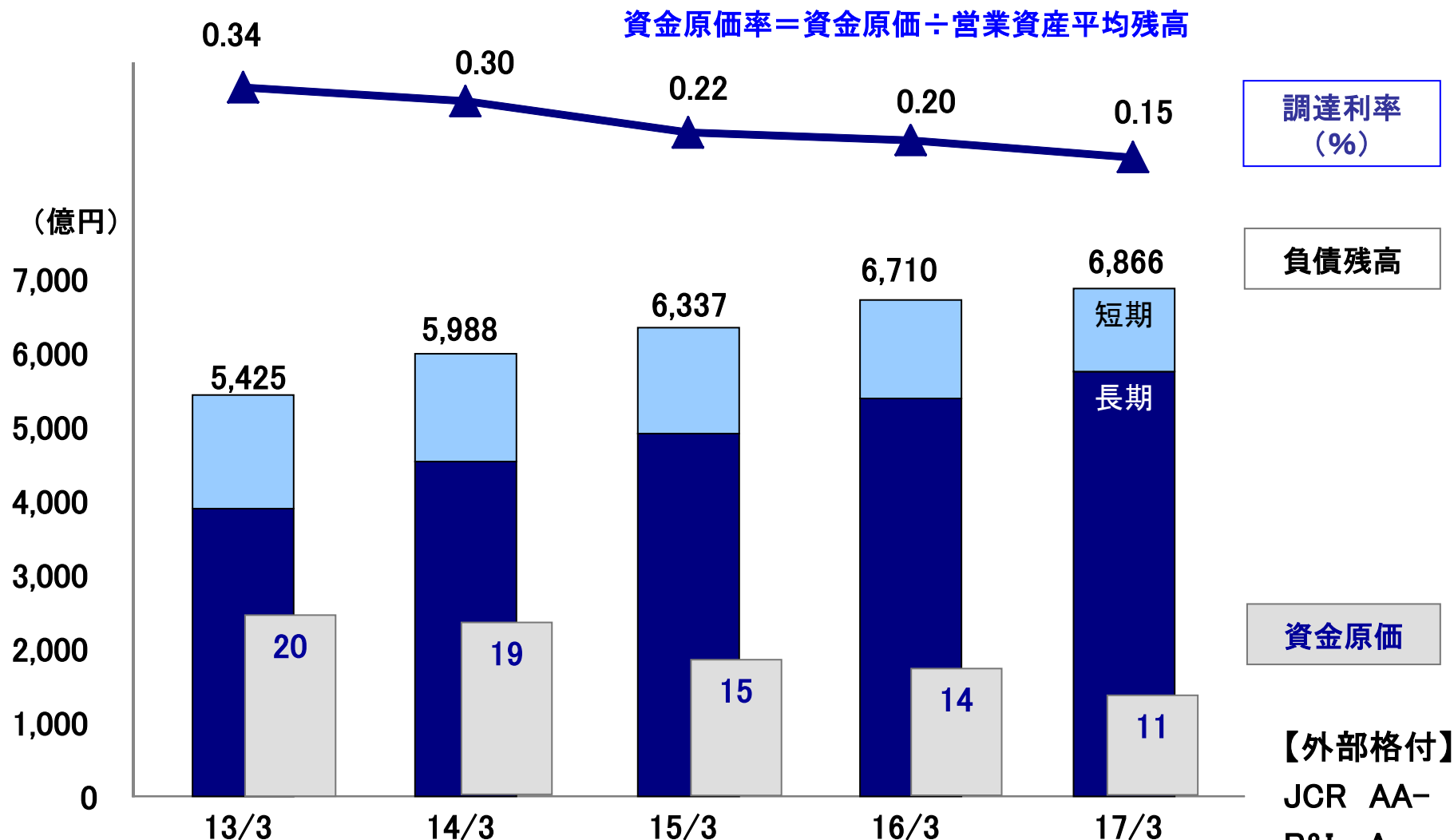




※差引利益: 売上－原価。各売上の差引利益の和は、資金原価控除前の売上総利益

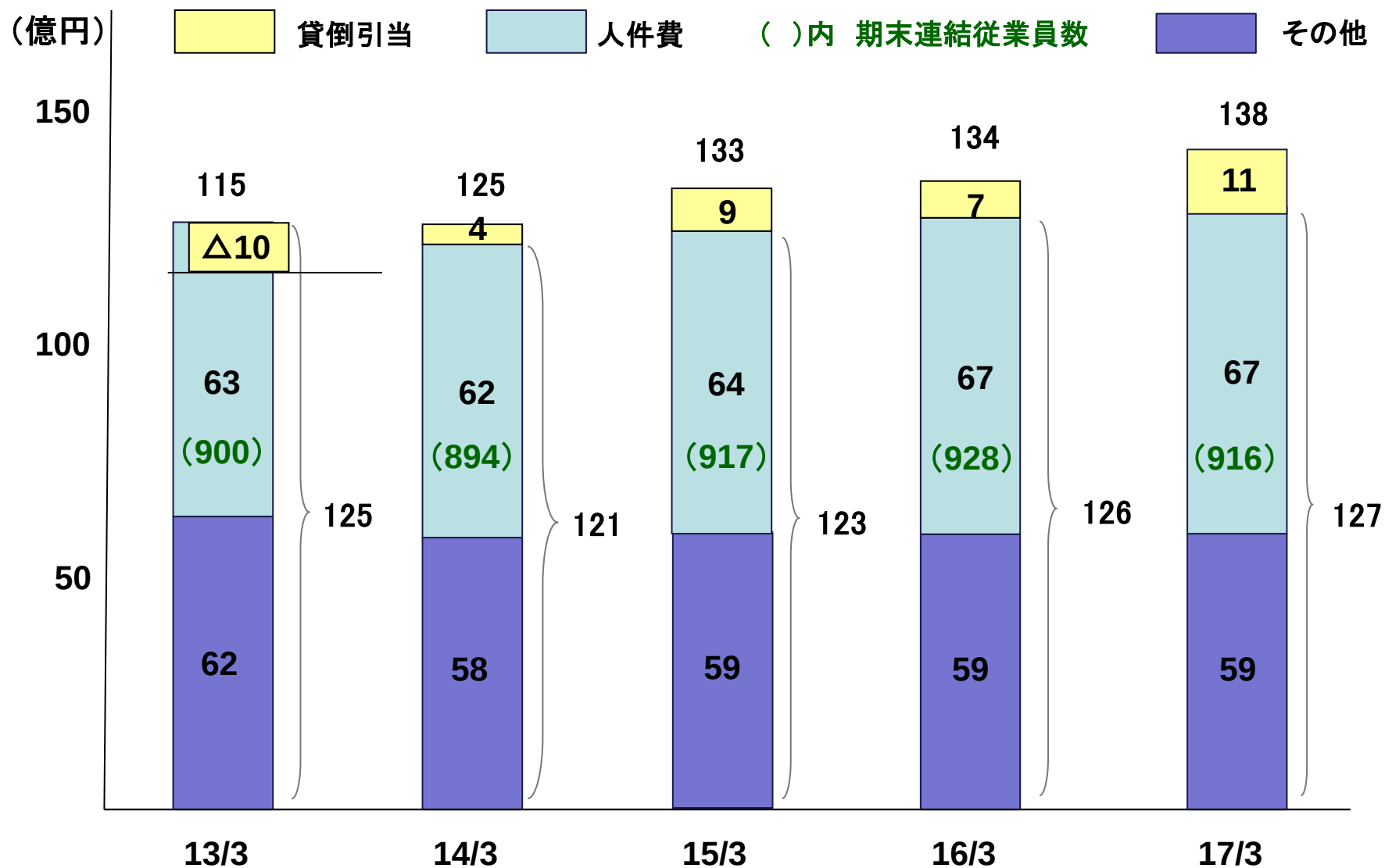


※リース債権流動化分を控除しない残高を表示



※負債残高はリース債権流動化による調達額を控除しない残高を表示
資金原価は売上総利益に含まれる費用を表示

販売費及び一般管理費の推移



2. 中期経営計画

(2017年度～2019年度)

顧客・市場

- ・「所有から利用へ」「モノからコト」への価値変化
- ・国内設備投資、リース市場の低迷・IFRSの影響懸念
- ・反転懸念はあるものの、依然として低い事故率、市場金利
- ・人口動態の変化（少子化・高齢化、生産年齢人口割合低下）
- ・A I、ロボット、I o T等の技術革新
- ・環境エネルギー制約の克服と投資拡大（省エネ・創エネ市場）
- ・地銀（金融緩和／金利低下）など異業種との競合激化、業界障壁の縮小

競合他社

- ・金融の枠を超えた新規事業、海外事業進出による事業基盤、収益基盤の拡張
- ・系列を超えた資本提携、買収などによる巨大化、強大化
- ・得意分野、専門分野強化による収益力向上、体質改善の進展
- ・ロボット、スマート農業、I o T 分野等、将来へ向けた積極的種まき、投資

自社

- ・高い割合を占めていた事務用・情報関連機器の構成比の低下
- ・伝統的なリース、割賦事業が多くを占める資産構成（高い金利収入割合）
- ・投資抑制による新規事業参入の遅れ

『リリース』の先へ



- 事業成長、利益成長のために今まで取り組んでいない事業領域やリスクテイクを行う
- 顧客の期待に応え、更に期待に先回りする事業、商品を研究・開発する

事業成長戦略

1.

ベンダーとのアライアンス強化と顧客網の最大活用による揺るぎない営業基盤作り

- ・ベンダーに対する有効なオファリングモデルの提供と戦略的な提携による関係強化
- ・40万社の顧客網に対する接点強化

2.

リース以外の提供価値の創造

- ・顧客、市場、時代が求める商品、事業の開発
- ・新しいリスクテイクによる事業領域の拡大

3.

リコーグループ各社との協業によるリース+サービスビジネスの展開

- ・製造、販売、物流などグループ各社が持つ強みを組み合わせた新たなサービスやビジネスモデルの創造

4.

創エネ、省エネを軸とした新たな環境分野への挑戦

- ・環境・再生可能エネルギー設備に対する取り組み強化

5.

社会の変化・課題解決のための金融サービスの開発と提供

- ・多様化する決済手段への対応強化
- ・人口動態の変化に対応した金融サービスの開発と提供
- ・金融サービス事業の営業利益構成比30%を目指す

注力分野

環境関連分野

- ・多様なスキームを駆使した積極的なリスクテイクによる拡大
- ・太陽光に次ぐ、バイオマス発電など新たな発電設備への取り組み
- ・ゼロエネルギー社会実現に向けたサービス、事業の開発・提供
- ・リース・割賦取扱高 2017年3月期 241億円 ⇒ 2020年3月期 500億円

事務・情報分野

- ・リコーグループのインフラを活用した新しい提供形態の開発
- ・「モノ」から「コト」へのサービス展開における差別化商品の提供

医療・介護分野

- ・コンサルティングなど専門能力を更に高め、顧客網の活用と拡大を図る
- ・介護ファクタリングと診療報酬ファクタリングの積極的な拡大
- ・ファクタリング取扱高 2017年3月期 606億円 ⇒ 2020年3月期 1,000億円

不動産分野

- ・国内人口動態に即した独自のアプローチによる事業展開
⇒ 単身者向け住宅賃貸事業の開始
- ・不動産事業者や賃貸人に対する多様なサービスの開発・提供

組織能力強化戦略

1.

多様化するニーズ、サービスに対応し、更なる商品力・業務効率化を追求する 新プラットフォームの構築

- ・新しい事業、サービス、商品の開発、提供を支えるITインフラの構築
- ・AI等新しいテクノロジーを活用した業務効率化の推進

2.

社会、市場、働き方の変化に対応した人財マネジメント

- ・時間、場所に捉われない柔軟な働き方の実現による生産性の向上と事業成長に向けた人員シフト
- ・業績貢献に報いる報酬制度の導入による成長意欲、チャレンジの促進

CSRの更なる推進

(1) 事業活動を通じた環境負荷低減

- －環境貢献度の増大を目指した環境関連事業の拡大

(2) 持続的な成長を実現するための各ステークホルダーへの貢献

- －社会的課題解決に向けて優先順位をつけた活動の推進

(3) コーポレートガバナンスの継続的な強化

- －PDCAの強化による企業価値向上

財務目標／損益	2014年3月期	2017年3月期	2020年3月期	2017年3月期～ 2020年3月期 CAGR
---------	----------	----------	----------	-------------------------------

**営業利益
(億円)**

160

173

183

1.8%

**ROA
(純利益/総資産)**

1.29%

1.31%

1.30%
(中期的目標)

—

**営業資産残高
(億円、流動化控除前)**

6,978

8,086

9,000

3.6%



営業目標	2014年3月期	2017年3月期	2020年3月期	2017年3月期～ 2020年3月期 CAGR
------	----------	----------	----------	-------------------------------

リース・割賦事業取扱高
(うち環境関連分野)
(億円)

3,209

3,362
(241)

3,675
(500)

3.0%
(27.5%)

医療・介護ファクタリング
取扱高
(億円)

198

606

1,000

18.1%

集金代行
年間取扱件数
(万件)

1,152

1,755

2,500

12.5%

3. 業 績 予 想

(2018年3月期)

(億円、%)

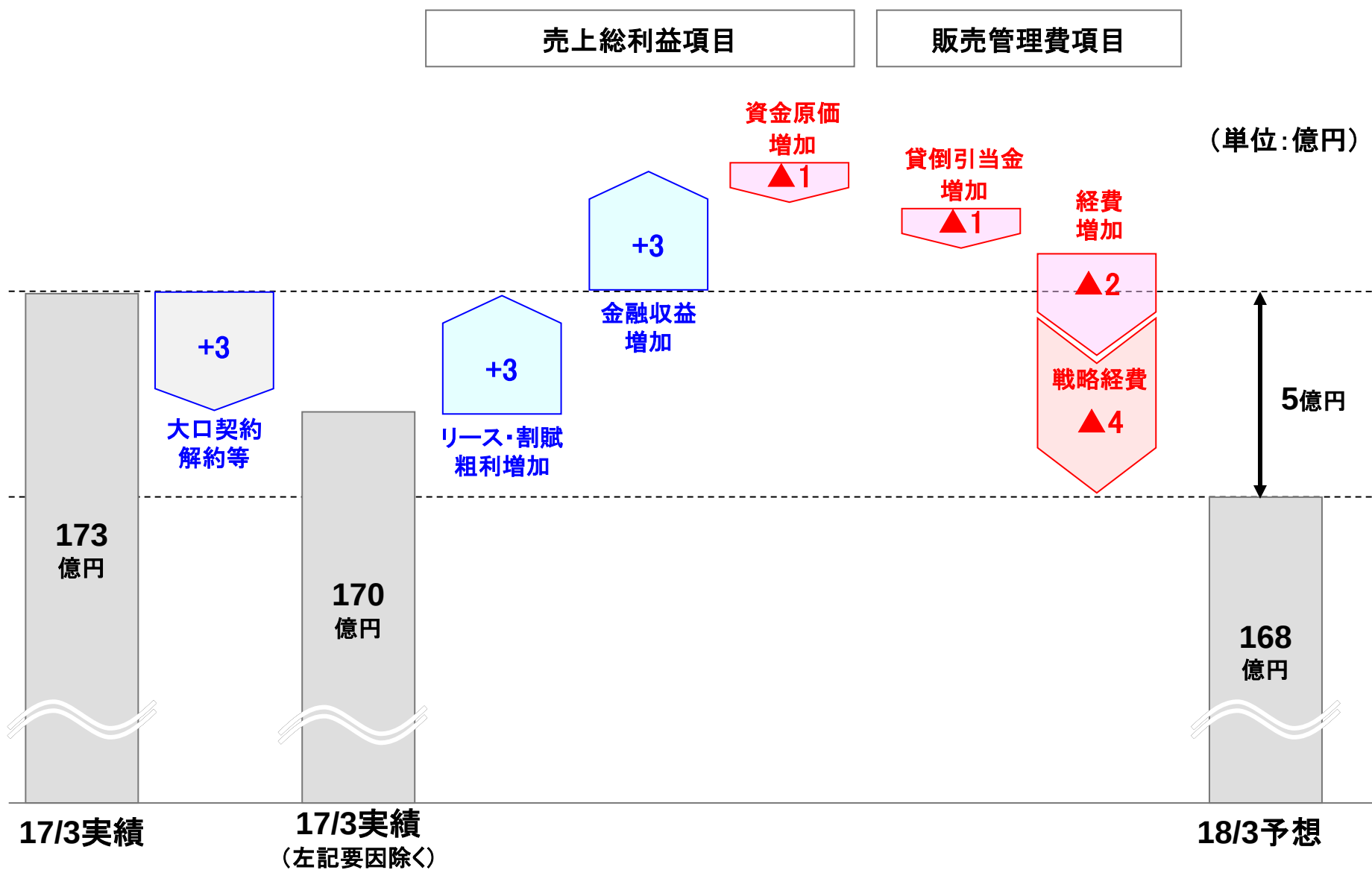
	17/3	18/3	
	実 績	予 想	伸 率
売上高	2,911	2,973	2.1
売上総利益	311	313	0.5
販売管理費	138	145	4.9
営業利益	173	168	△3.1
(営業利益率)	6.0	5.7	△0.3
経常利益	171	165	△4.0
当期純利益	117	113	△4.0

前年差

営業資産残高	8,086	8,385	299
ROA	1.31%	1.21%	△0.10%
ROE	7.8%	7.1%	△0.7%
1株当たり純利益(円)	377.12	361.99	△15.13
1株当り配当金(円)	60.00	70.00	10.00

※営業資産残高はリース債権流動化分を控除しない残高

営業利益の前年比増減要因予想



(億円、%)

		17/3	18/3	
		実 績	予 想	伸 率
ファイナンス・リース オペレーティング・リース 割 賦	ファイナンス・リース	2,599	2,600	0.0
	オペレーティング・リース	125	130	3.8
	割 賦	637	650	1.9
リース・割賦事業		3,362	3,380	0.5

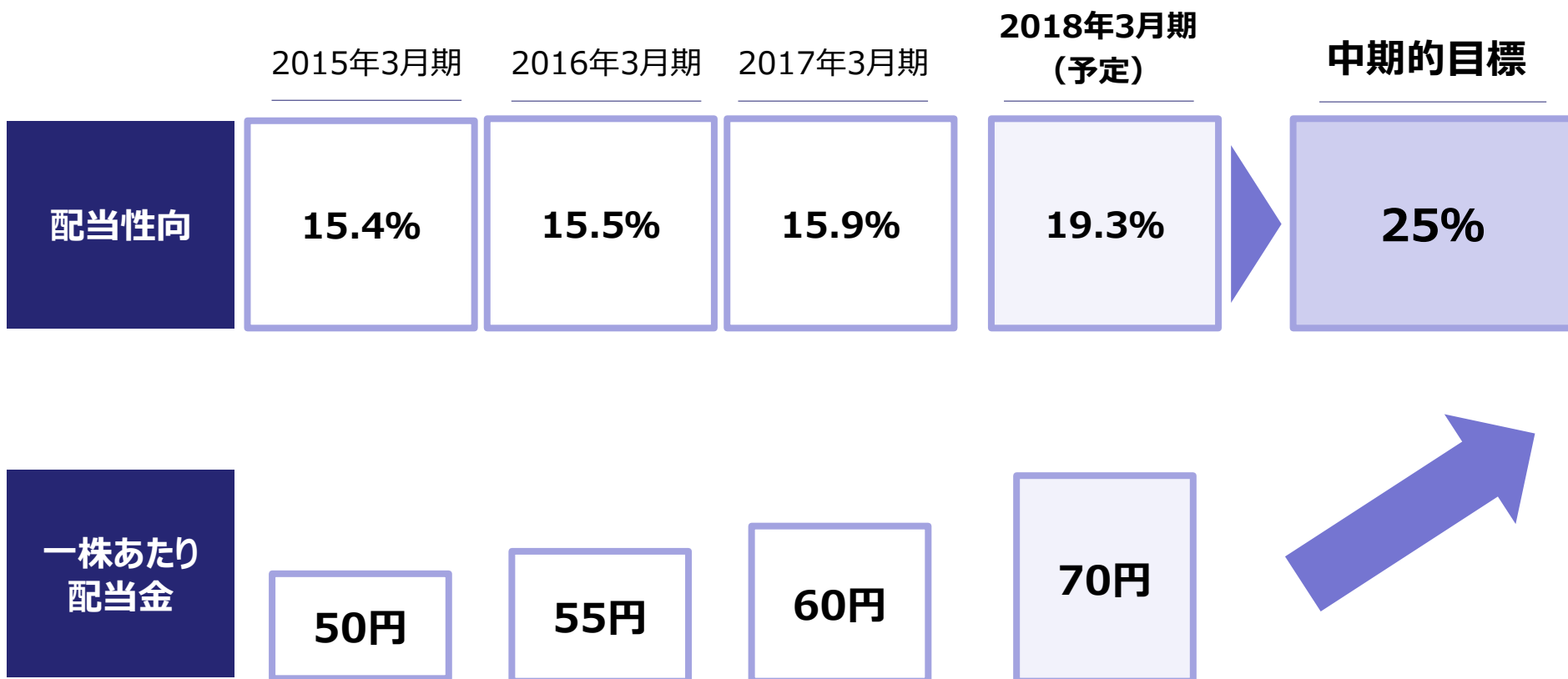
金融サービス事業	327	270	△17.6
----------	-----	-----	-------

総 取 扱 高	3,690	3,650	△1.1
---------	-------	-------	------

(億円、%)

		17/3	18/3	
		実績	予想	伸率
事務用・情報関連機器		1,801	1,805	0.2
医療機器		415	420	1.0
産業工作機械		321	340	5.9
商業・サービス業用機器		335	320	△4.7
車輜・輸送用機器		168	170	1.1
その他		320	325	1.4
合計		3,362	3,380	0.5

確実な成長と適正な資本の充実及び財務体質の強化を図りながら、着実に株主配当を伸長してまいります。株主還元を一層進め、配当性向を中期的（3～5年後）目標として25%とします。



**信 頼 を
未 来 へ**

リコーリース

リコーリース株式会社

(億円、%)

		16/3	17/3			
		実 績	予 想	実 績	予 想 比	伸 率
	リース料収入	2,124	2,190	2,179	99.5	2.6
	割賦売上高	352	390	414	106.3	17.8
	営業貸付収益	26	27	25	95.6	△2.1
	受取手数料	44	48	48	100.5	8.8
	その他	211	195	243	124.6	15.1
売上高合計		2,758	2,850	2,911	102.1	5.5

(億円、%)

		17/3	18/3	
		実 績	予 想	伸 率
リ	一 ス 料 収 入	2,179	2,218	1.8
割	賦 売 上 高	414	450	8.5
営	業 貸 付 収 益	25	26	0.8
受	取 手 数 料	48	50	3.6
そ	の 他	243	229	△5.8
売	上 高 合 計	2,911	2,973	2.1

＜参考＞前 中期計画実績(業績・経営指標)

(億円、%)

	14/3 実 績	中計目標 (17/3)	17/3		
			実 績	1 4 / 3 比	計 画 比
売 上 高	2,459	2,800	2,911	118.4	104.0
営 業 利 益	160	175	173	107.9	99.0
当 期 純 利 益	95	109	117	123.3	108.0

	増減			差異	
営 業 利 益 率	6.5	6.3	6.0	△0.5	△0.3
R O A	1.29	1.3以上	1.31	+0.02	+0.01
R O E	7.8	7.4以上	7.8	+0.0	+0.4

<参考>前 中期計画実績(営業)

(億円、%)

			14/3 実 績	中計目標 (17/3)	17/3		
					実 績	1 4 / 3 比	計 画 比
	事務用機器・ 情報関連機器		2,028	2,200	1,801	88.8	81.9
	医療機器		440	500	415	94.4	83.2
	リース・割賦事業		3,209	3,660	3,362	104.8	91.9
	金融サービス事業		248	340	327	131.9	96.3
	総 取 扱 高		3,457	4,000	3,690	106.7	92.3

営 業 資 産 残 高	6,978	7,800	8,086	115.9	103.7
-------------	-------	-------	-------	-------	-------

※営業資産残高はリース債権流動化分を控除しない残高

集 金 代 行 サ ー ビ ス	106万件	170万件	160万件	150.9	94.1
介 護 報 酬 フ ァ ク タ リ ン グ	198	600	606	306.1	101.0

※集金代行サービスは、年間における月間最大件数で算出